

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2021年2月26日

事業所名 なぎさ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令に沿った広さとはなっておりますが、もう少し広さがあると利用者さんたちがのびのびと活動ができるのではと考え、工夫を検討しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	法令に沿った人数となっております。支援の仕方や活動を工夫し、丁寧な支援が行えるようにしていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	古い住宅を使用している為、できるかぎりバリアフリーへの改善を行っています。今後も、必要な個所等の情報を上げてもらい、できる配慮、工夫を行っていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	今後も継続し、話し合いの場を持てるようにしていきます。 また、パート指導員の方ともじっくりと話し合いが持てる場を作っていきたいと感じています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の方からの評価や、普段のお話の中のご意見を参考に業務の改善に活かさせて頂いています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価に関しては、毎年、法人のホームページにて公開させて頂いています。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価ということを行ってはおりませんが、外部からの見学や職員間にて他事業所へ出向く等を行い、そこでのご意見等を参考に業務改善を行っております。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	今後も適宜、研修機会や研修情報を提供できるようにしていきます。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	職員間で情報をまとめ、放課後等デイサービス計画を客観的に作成できるように話し合いの場を持つ等の工夫を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はっきりとしたアセスメントを使用しているわけではありませんが、現在の利用者さんの様子に応じて将来に向けてステップアップできるように独自の目標を参考に行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員間で日々、話し合いの場を持ち、より良い活動となるように工夫を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	職員間で日々、話し合いの場を持ち、より良い活動となるように工夫を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	こんな課題へ挑戦して欲しい等を検討し、活動プログラムへ取り入れています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別活動の時間、集団活動の時間を組み合わせながら活動を計画しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	始業前には、送迎の兼ね合いで顔を合わせたの打ち合わせができないため、工夫して情報を共有できるようにしています。また伝達できるように電話やメール等も活用しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後には必ず打ち合わせを行って、情報共有に努めています。課題が出てきた際には、翌日、常勤職員で打ち合わせをするなど改善に向けての工夫を行うようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録内容を次へ行かせるように今後は記録の取り方、振り返り方へ活用ができるようにしていきたいと思っています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に見直し、新たに計画を作り直す事をおこなっています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	日常生活に活かせる活動や創作活動、余暇に活かせる遊び等を複数組み合わせ合わせておこなっています。今後も継続してガイドラインを振り返りながら支援をおこなっていきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	必要と思われる職員が参加し、情報共有等に努めています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校とは適宜、必要な情報を共有することができます。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	必要に応じて連携をは図れるようにしています。

関係機関や保護者との連携
関係機関や保護者との連携

⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学前の事業所等があれば、情報の共有に努めています。
㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報提供ができるように準備を行っています。
㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	専門機関との連携に努めています。必要に応じて、来所をお願いし助言がもらえるようにしています。
㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域の公園へ出かける等、小さなことではあるが他のお子さんに関われる機会を設けられるようにと思っています。感染症の状況に応じて出来ることを工夫して行けたらと感じています。
㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今後も参加を継続して行けたらと感じています。
㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	保護者の方へお迎えをお願いしている為、共通理解を図る時間が持っています。今後も継続し、ご協力が頂けたらと思います。
㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	法人内で、専門家による保護者サロンを開催しています。
㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に丁寧に説明を行わせて頂いています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必要に応じてお話を聞くことができるように意識して行っています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者の方同士が、お話ができるきっかけ作りができればと考えています。今後、感染症等の状況に応じて検討して行けたらと思っています。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	ご意見を頂いた時には、すぐに対応ができるようにしています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	お手紙、おたより等で情報を発信できるようにしています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	個人情報に注意するようにお伝えしています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	保護者の方とはお迎え時等、お話する場にて情報が伝達できるようにしています。利用者さんとは、写真カード、サイン等で意思疎通が図れるように工夫しています。今後も継続して行けるようにしていきます。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域の公園等で活動するなど意識していきます。コロナ禍で行事等が難しいですが、地域の方にどんな活動をしているか等知ってもらえる工夫を行なえたらと感じています。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	掲示場所を工夫するなど、周知できるようにしていけたらと思っています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に訓練を行っています。 今後も定期的に訓練を行えるようにしていきます。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待防止研修を行っています。 新しく入職した人にも研修するなど工夫を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	契約時の説明、また放課後等デイサービス計画に記載しています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーに関しては、入園時に確認を行い対応しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット等はファイルを作成し、振り返って読んでもらえるようにしています。 また、ヒヤリハットは常に共有して次がないように意識しています。